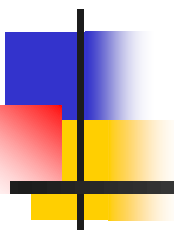


東日本大震災発生後の保健活動



宮城県仙台保健福祉事務所岩沼支所
井上 三千代



仙台保健福祉事務所岩沼支所 管内の概要

県の南部，太平洋沿岸に位置し，名取市，岩沼市，亘理町，山元町の2市2町の区域からなる。

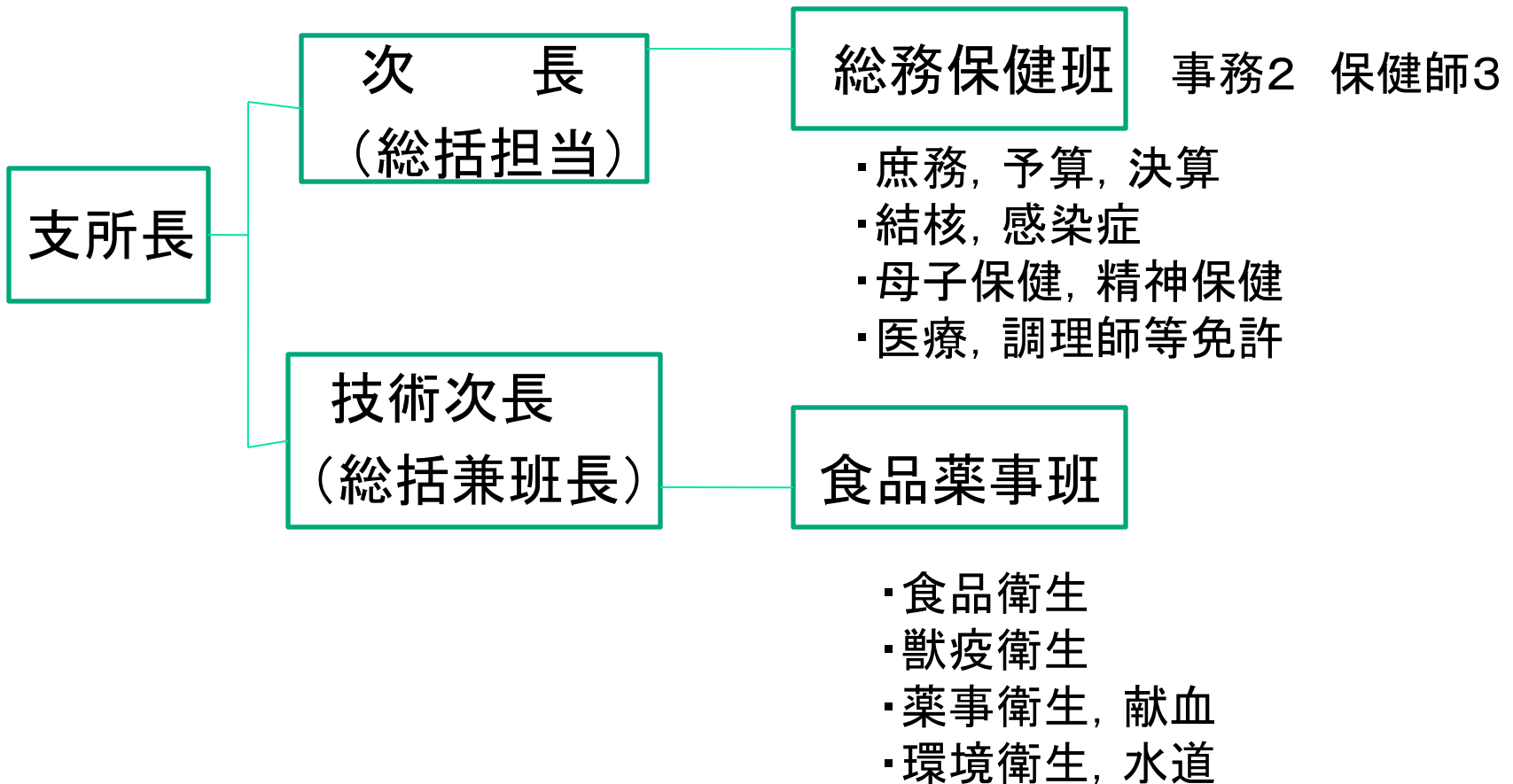
H23.2月末現在

面積：298.47km²

人口：169,637人

* 164,211人(H23年12月末)

岩沼支所の組織



岩沼支所管内被災状況

	名取市	岩沼市	亶理町	山元町	計
世帯数 (H23.2月末)	26,433	16,003	11,442	5,561	59,439
人口 (H23.2月末)	73,229	44,128	35,585	16,695	169,637
死亡者数	911	182	257	671	2,021
死亡者割合 (%)	1.2	0.4	0.7	4.0	1.2
行方不明者	56	1	12	19	88
浸水面積(%)	27%	48%	48%	38%	39%
被災世帯数	3,974	2,337	4,196	2,913	13,420
全壊住宅	2,806	724	2,516	2,211	8,257
半壊住宅	1,060	1,601	1,142	1,064	4,867

〈資料〉 人口・世帯数:住民基本台帳 その他:総務省統計局政策統括官HPより

活動の実際

フェーズ1

72時間以内

所内の体制

所内職員＋応援職員で対応

活動内容

○情報収集

- ・市町村に出向いての情報収集
- ・福祉施設被災状況の確認
- ・人工呼吸器装着者等の安否確認

→上記の結果必要物品を県庁に対し要望

○3/14以降の体制の検討

→保健師の応援要請

活動の実際

フェーズ1

72時間以内

役割分担

①情報収集：集まった職員がペアで現場に

②ケースの安否確認：保健師

③所内業務の体制整備：総括，庶務担当

- ・勤務の調整 宿泊，休暇，通勤手段
- ・公用車のガソリンの確保
- ・所内の水の確保

・・・③はフェーズ2以降も継続

活動の実際

フェーズ2

3/14~3/25

- 各市町に保健師を派遣
(各市町の状況にあわせて・担当は原則同じ人で)
 - ・保健師の活動状況の把握
 - ・情報収集, 情報提供
 - ・各課題への対応

- 派遣スタッフの受け入れ調整
 - ・県庁からの連絡を受け配置の検討 : 所内
 - ・受け入れ調整 活動の場・内容の検討 : 現地

保健師シフト表

		岩沼支所保健師			本所保健師等				その他県機関保健師		
		井上	氏家	岩崎	高橋	千葉	大宮	その他	我妻	長橋	中嶋
3/11	金	△	○			△	△				
3/12	土	○	○			○					
3/13	日	○	休	○		○	○	大泉・門村・大村・佐々木			
3/14	月	情報収集(名取)	情報収集(亶理)	精神対応	岩沼			門村・大村・佐々木			
3/15	火	フリー	休	山元	山元	名取	亶理	門村・大村	亶理		
3/16	水	フリー	岩沼	山元	山元	名取	亶理	門村・大村	亶理		
3/17	木	フリー	岩沼	山元	山元	名取	亶理		亶理		
3/18	金	フリー	休	山元	山元	名取	亶理		岩沼		
3/19	土	フリー	AM休	休	山元	名取	亶理		亶理	岩沼	
3/20	日	フリー	PM休	休	山元	名取	亶理		休	休	岩沼
3/21	月	所内	休	山元	名取	休	亶理		PM亶理	岩沼	休
3/22	火	所内	心ケア	山元	名取	名取	休		亶理	休	岩沼
3/23	水	所内	休	山元	休	名取	亶理		名取	岩沼(心ケア)	岩沼
3/24	木	所内	岩沼(インフルエンザ)	山元	休	名取	亶理		名取	心ケア	岩沼
3/25	金	所内	所内	ケース対応	名取	休	亶理		名取	亶理	岩沼
3/26	土	所内	休	休	名取	休	亶理		休	心ケア	休
3/27	日	休	所内	山元	名取	岩沼	休		亶理		休
3/28	月	所内	山元	休	名取	岩沼	亶理				岩沼
3/29	火	所内	休	山元		名取(心ケア)	亶理				岩沼
3/30	水	心ケア	休	山元		名取	亶理				岩沼
3/31	木	心ケア	所内	山元			休				岩沼
4/1	金	結核/心ケア	岩沼	山元(心ケア)			亶理				

活動の実際 フェーズ2(3/14~3/25)

役割分担

○所内保健師

- ・保健師活動の調整
- ・県庁からの連絡を受け市町担当保健師に伝達
- ・市町担当保健師からの連絡に対して対応
- ・派遣チームの広域調整
- ・所内に持ち込まれる相談対応

○市町担当保健師

- ・各市町の状況にあわせて必要な活動を展開
- ・派遣されたチームの現場での対応

○その他食品薬事班職員が、食品衛生・獣疫衛生の面で避難所を巡回

フェーズ2(3/14~3/25)

市町担当保健師の活動の実際

亘理町

亘理町の状況 (3/13の記録から)

- ・ライフライン: 全戸断水, 停電
- ・被害状況
 - 荒浜, 吉田, 長瀬地区に津波被害
 - 塩釜亘理線 ケーヒン亘理付近まで通行止め
 - 相馬亘理線 通行不能
 - 公的施設の被害(倒壊, 流失)はないが, 役場は被害が大
- ・避難状況
 - 避難所: 21箇所 避難者数: 4, 730人
- ・保健師の活動 保健師10人 (1人育休中?)
 - 全ての保健師が避難所に配置

フェーズ2 各課題への対応の実際(亘理町)

課 題	対 応
<ul style="list-style-type: none"> ●保険証を持たない被災者の医療費の問題(10割とられる人がいる) ●精神障害者 , 通院病院が被災, 受診の困難, 薬が流失し手に入らない ●避難所ごとに方法, 状況異なる。保健師間で情報交換できない。 ●各避難所で全体の健康チェックができない ●受診可能な医療機関がわからない ●保健師チームの受け入れについて ●津波被害のあった家の消毒方法について住民向けパンフ作成の依頼あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁確認し確認し回答 ・精神医療センターに診療状況の確認, 依頼 ・心のケアチームによる処方, 処方箋作成依頼 ・24時間対応で薬を出せる薬局の情報 ・通院手段の検討→自衛隊による通院 3/15 9:30～保健師を集めての打合せ ・調査票等の案作成し町保健師と検討 →修正し作成したものを印刷し配置 併せて啓発用各種チラシ・ポスター作成 各避難所に配付 ・受診可能な町内医療機関の一覧作成 ・配置場所, 活動内容について調整 オリエンテーション実施 ・食品薬事班作成 →メールで町災対本部あて送信

フェーズ2(3/14~3/25)

市町担当保健師活動の実際

山元町

山元町の状況(3/13の記録から)

- ・ライフライン: 全戸断水, 停電
 - ・被害状況
 - 役場アンテナ倒壊のため外部と連絡とれず
 - 津波被害は6号線以東, 特に南部で著明
 - 6号線は地盤陥没著明
 - ・避難状況
 - 避難所: 大きいところで5箇所,
小さい所を含めると27箇所
 - 避難者数: 約5,000人
 - ・保健師の活動 保健師5人
 - 保健師2人が避難所巡回(1日)
 - 統括保健師とその他の保健師が救護所で活動

フェーズ2 各課題への対応の実際(山元町)

課 題	対 応
<ul style="list-style-type: none"> ●薬を出してもらうために処方箋必要 ●夜間パニックになる人有り, 受診必要 ●全ての問い合わせが統括保健師にはいい, 統括保健師の疲労大 ●次々とボランティアが入ってくるが役割分担されておらず非効率 ●保健活動全体が見えにくい ●様々な支援チームが入り, 統一が困難であったり新たな課題も出てきている ●心のケアチームの活用について ●スタッフのメンタルスの問題 ●救護所で介護の必要な人が多く, 施設入所の調整が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・平田医師に相談→カルテ有の人はOK →平田外科, 松村クリニックは主治医 主治医無の人は宮城病院で処方 ・精神医療センター相談 →受診OK ただし条件あり →受診方法の検討→自衛隊で ・心のケアチームの活用 ・年長の保健師を派遣し, 統括保健師のサブとして救護所に配置 ・統括保健師の負担軽減 ・3/17から毎日15:30から保健師打合せ ・打合せで共有, 検討 ・問診票, 健康チェック票は保健所で作成 活用の調整も保健所で ・心のケアチーム対応 ・長寿確認 →リストを出せば長寿ケアマネ協会 で調整可



活動のまとめ フェーズ2(3/14~3/25)

○所内保健師

- ・保健師活動の全体調整
- ・市町担当保健師からの連絡に対して対応
- ・管内の情報の集約と県庁等からの情報の窓口
- ・派遣チームの広域調整

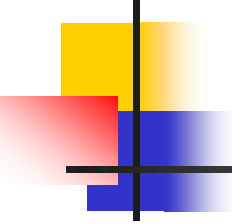
○市町担当保健師

- ・前半は市町における保健活動の体制整備
- ・後半は避難所を巡回しながら情報収集と提供,
派遣チームの活動調整

フェーズ3 (3/26~)

活動体制

- 4/1から保健師の応援は本所保健師1名のみ
→4人の保健師で2市2町の担当を分担
各市町への関わりは担当保健師が企画
- 本所と支所の役割の整理(4/20)
 - ①県庁からの連絡, 報告の窓口は本所1本で
派遣保健師の要請, 感染症の報告など
 - ②心のケアチームの調整や活用は支所で行うが,
保健所として企画, 会議, 事業の実施は本所
 - ③本所として管内全体の状況把握を行う



フェーズ3 (3/26～)

保健師の活動内容

○全体としては

- 避難所巡回
- 心のケアチームの活動に係る調整, 随行
- その他派遣チームの調整
- 各市町打合せ参加

○市町によっては

- 職員のメンタルヘルス対策に参加
- 被災者世帯調査・被災地健康調査に向けた検討に参加
情報提供, 実施案の提示, 従事保健師の試算
- 仮設住宅入居に向けた準備



フェーズ4 (5/11以降) 活動体制

5/31 本所からの応援終了

→健康調査等で県内保健所から
応援あり。

8/1～ 山形県保健師1名配置

H24年3月末まで



フェーズ4 (5/11以降) 保健師の活動内容

①派遣チームの活動調整

心のケアチーム: 終了に向けた調整
保健師チーム

県外: 避難所閉鎖に伴う活動の場, 内容
広域調整

県内: 活動の場, 内容の広域調整



フェーズ4 (5/11以降) 保健師の活動内容

②市町の状況にあわせた支援

- 各種調査(被災地域, 仮設住宅)の支援
 - ・調査内容等具体的な検討, 支援
 - ・人的支援の調整
- 健康調査後のカンファレンス参加, 要支援者のフォロー
- 保健師他支援者への研修の企画, 実施
- 仮設住宅への支援団体等の活動調整



災害発生からの保健活動を振り返って ①

- 誰もが体験したことのない, とんでもない災害
 - 市町保健師は自らも被災した状況の中で保健活動をしており, 何とか休ませたいという思い。
 - 県庁等へのSOS
 - 頭になったり, 手足になったりの支援
 - 活用できる資源を探し情報提供
- 中堅以上の使命感に燃えた保健師が支所に集合
 - それぞれの持ち味を生かした市町支援の展開
 - それぞれの活動を情報交換することにより,
 - 活動の幅が広がると共に問題解決がスムーズに



災害発生からの保健活動を振り返って ②

- 他の被災保健所に比べ、比較的混乱なく経過
 - 保健師の活動拠点に被害がなかったこと。
 - 初動時から衛生面の管理等基本的なことはできていたこと。・・・日頃の保健活動のたまもの？
 - 初動から市町担当を固定して支援したことで、継続的な支援を行うことができたこと。
 - 震災後2週間で各市町の保健活動の体制がほぼ整ったこと。
 - 保健所の保健師が、その時々目の前の問題に対して市町保健師と一緒に考え取り組んできたこと。
- 以上が要因？



災害発生からの保健活動を振り返って ③

○災害後6ヶ月以降は、いろいろな事業を市町で行うようになり、また、いろいろな機関、団体が長期的に関わるようになることから、市町保健師は通常業務に加えコーディネートが必要になる。

→保健所保健師の支援の限界。

自治法派遣による市町職員としての保健師が必要なのでは？



現在の課題と今後の保健活動

○支所としての活動の限界

- ・情報がはいつてこない。
- ・役割に限界があり, やれる範囲での活動
→各市町担当は継続する他, 通常業務の中で市町支援

○保健福祉事務所としての活動については本所に期待